

2024  
**7**

兵庫県商工連会報

No.772 2024.6.20 / 偶数月20日発行

# 翔光

(題字は齋藤知事)



事業承継を果たし、成長を続ける

株式会社山尾工作所 (稲美町)

株式会社山尾工作所は、1950年に創業。現在、加古郡稲美町で金属製品製造業を営む企業である。

2018年7月、稲美町商工会主催の「事業承継セミナー」を受講し、その後、専門家派遣制度を活用して事業承継計画を策定。2019年6月、現社長に事業承継を行い、順調に成長している。(詳細はP4)



## CONTENTS

- 02 春の叙勲・県功労者表彰 / 理事会・通常総会
- 03 商工会プラン
- 04-05 あなたのまちの元気な企業・稲美町商工会情報

- 06-07 CCコラム他
- 08 SDGsにかかるエッセンス / 新規採用職員紹介

# 春の褒章・県功労者表彰

(敬称略)



黄綬褒章

にし がき たかし  
西 垣 隆  
(朝来市商工会 会長)



産業振興功労

み むら ひろ あき  
三 村 広 昭  
(吉川町商工会 会長)



産業振興功労

し みず かつ ひこ  
清 水 賢 彦  
(多可町商工会 会長)



産業振興功労

おお にし かず き  
大 西 和 樹  
(稲美町商工会 会長)



産業振興功労

つち やま たか し  
土 山 亨 司  
(姫路市商工会 会長)

受賞おめでとうございます  
ございます



産業振興功労

かた おか ひとし  
片 岡 仁  
(神河町商工会 会長)



産業振興功労

ほり せい し  
堀 成 志  
(丹波篠山市商工会 理事)



女性活動功労

き むら ゆう こ  
木 村 祐 子  
(県女性連副会長  
芦屋市商工会理事)



自治功労

せき なだ ま すみ  
関 灘 真 澄  
(稲美町商工会女性部  
副部長)

## 第63回 通常総会

5月30日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて、第63回通常総会を開催した。当日審議した議案は次のとおり。両議案は原案どおり可決承認された。

**第1号議案** 令和5年度事業報告及び収支決算承認について

**第2号議案** 令和5年度特別会計収支決算承認について

また、当日の来賓として、齋藤知事、内藤兵衛県議会議長、近畿経済産業局産業部の河上康裕次長等が臨席され祝辞を述べられた。

なお、通常総会に先立ち、第1回理事会が開催

され、兵庫県商工会プランの策定について審議した他、通常総会提出議案など3議案を審議、いずれも原案どおり承認された。



△ 挨拶をする小寺会長



△ 祝辞を述べる齋藤知事

兵 姫 播 日 西 中 但 但 神 淡 尼  
庫 路 州 新 兵 兵 陽 馬 戸 路 崎  
信 信 信 信 兵 兵 信 信 信 信 信  
用 用 用 用 庫 庫 信 信 用 用 用  
金 金 金 金 用 用 用 用 用 用 用  
庫 庫 庫 庫 金 金 金 金 金 金 金  
(アイフエオ)

「しんぎんキャッシュカード」を利用すれば、全国にある信用金庫ATMでの入出金手数料が無料です。出先で、旅先でご利用下さい。(但し、土日・祝日・所定時間外等及び一部のATMは除きます)

私たちは、兵庫県の皆さまとともに歩んでいく、地域金融機関です。



イベントキャラクター「ホッピー」

“しんしん”は  
経営者の皆さまを応援します

■詳しくは窓口へおたずねください。



いまでも これからも いつまでも  
兵庫県信用組合

〒650-0023 神戸市中央区栄町通 3-4-17  
TEL 078-391-6315  
<https://www.hyogokenshin.co.jp/>



## 10年先を見据えた5年間の中長期計画である「兵庫県商工会プラン」を策定

県連合会は、令和5年度から1年以上をかけて“10年先を見据えた5年間の中長期計画”として「兵庫県商工会プラン」(以下、商工会プラン)を策定した。

商工会プランを策定するにあたり、総務委員会の小委員会として商工会長3人、学識経験者2人、商工会職員8人の計13人で構成した“兵庫県商工会プラン策定委員会”を設置し、各委員が役員・専門家・職員の立場から様々な意見を出し検討・協議を重ねた。また、解決すべき課題に不足がないよう県下商工会に対して意見公募を実施し多くの意見を取り入れた。

概要として、商工会プランの役割の明記と兵庫県を取り巻く環境を分析した“第1章”、商工会及び県連合会の役割を再認識し、県下で統一した基本理念・ビジョン・目的・行動指針を示した“第2章”、行動指針に紐づいた戦略・アクションプランを記載した“第3章”の3部構成となっている。

商工会プランは不確実性が高まる現代において商工会組織が変化への適応力を高め、会員事業所・非会員事業所を問わず中小・小規模事業者に必要な経済団体としての役割を果たすため、これまで以上に商工会組織そのものを強化する計画書として県下28商工会及び県連合会が一丸となって目標に進むための「マスタープラン」として位置付け、今年度6月から実行に着手している。

### 1. 基本理念

～ 地域企業の持続的発展と  
地域経済の活性化に貢献する ～

### 2. ビジョン

地域社会に根差した支持される商工会  
身近な相談先として信頼できる商工会  
自分を磨いて成長に挑戦できる商工会  
持続可能な組織運営を実現する商工会

### 3. 目的

『商工会の支援力の向上を図り、  
地域企業の持続的発展を支援します』  
『商工会組織の基盤を強化して、  
地域経済活性化の牽引役になります』

### 4. 行動指針

私たち  
商工会は

- ① 地域企業の経営改善と経営発達を支援します
- ② 地域課題の解決を図り経営環境を改善します
- ③ 自ら学ぶ風土を醸成し会員満足度を高めます
- ④ 効果的な業務が実施できる環境を整備します
- ⑤ 組織基盤の拡充と財政力の強化を推進します
- ⑥ 環境変化に対応できる組織体制を整備します
- ⑦ 法令・規則を遵守して社会的信用を高めます
- ⑧ 商工会の存在意義を地域社会に浸透させます

## 「兵庫県商工会プラン」の策定にあたって 会長あいさつ



兵庫県商工会連合会  
会長 小寺 博史

商工会法の施行から60有余年、商工会は地域の商工業者のために「経営改善普及事業」に携わり、その当初より、地域企業の金融や税務、その他多数の相談指導に対応してまいりました。

また、昭和56年の商工会法改正により、地域振興事業にも取り組むことになって以来、商工会は「経営改善普及事業」と「地域振興事業」を事業の2本柱として、地域経済の活性化に尽力してまいりました。

しかしながら、長い年月を経るにつれ、“組織風土”である価値観は固定化され、また、“組織文化”は過去の成功体験に束縛されています。社会環境そのものが不

透明で不確実な現在においては、従来型の“組織風土”と“組織文化”が必ずしも有効とは限らなくなりました。

県下の商工会地域においても少子高齢化による後継者難と人手不足、産業構造の変化及び頻発する自然災害など、地域企業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

これらを踏まえ、商工会組織そのものをメンテナンス・強化し、時代や環境の変化に合わせて進化することでこれまで以上に地域経済の活性化に向けた効果的な個社支援を実現する必要があると感じ、この度“兵庫県商工会プラン”を策定いたしました。

「地域企業の持続的発展と地域経済の活性化に貢献する」を基本理念に掲げ、県下28商工会と県連合会が今一度団結する時が来ました。

本プランが、会員事業所及び商工会役職員の皆様を新たな成長へと導く“羅針盤”になればと願っております。計画を実行に移し、「地域企業の持続的発展と地域経済の活性化に貢献する」ためにも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

あなたのまちな  
元気な企業 ✦

# 取引先から事業承継について指摘されたことをきっかけに、 事業承継計画を策定し、承継を果たす 株式会社山尾工作所（稲美町）

## 事業承継への懸念から取引停止の危機に

株式会社山尾工作所は、金型の設計・製造、金属部品のプレス加工を中心とした金属製品製造を営む企業である。

1950年に現専務の父が創業し、1990年、専務の夫である前社長が同社を引き継いだ。

単発型金型によるプレス加工や、順送金型プレス加工と自動機による各種加工を組み合わせた自社開発装置を駆使した、複雑な金属加工を得意とし、主要取引先はバイクメーカーや給湯器メーカーである。

前社長の年齢が60代後半に入った2008年頃、主要取引先事業者の担当者が来社し、事業承継の見通しについての質問を受けた。その時点では明確な回答は避け、前年に入社し製造現場の見習中だった子息、直孝氏を紹介するにとどまった。

その後、同社の担当者が来社の折、「75歳頃に事業承継ができるとうい」と話されたが、日頃の業務に追われる中、体力の衰えを感じつつも、承継問題を先送りしていた。

ところが2018年6月、ついに同取引先から早急に事業承継の計画書を提出し実行に移すよう強い要望があった。それを受け、前社長は直孝氏にもう少しの期間、金型製作の技術習得に専念させたい思いもあったが、自身の年齢を考慮し、社長交代を決意した。しかし、何から手を付けるべきか思案していた。

## 商工会の支援を受け、事業承継計画を策定

そんな折、商工会主催の「事業承継セミナー」のチラシを見掛け、ちょうど良い機会と考え、2018年7月の同セミナーに参加した。

セミナーでは事業承継に向けて必要な基礎知識を学んだ。セミナー後、商工会の専門家派遣制度を活用し、中小企業診断士、税理士、社会保険労務士と1回約2時間の面談を合計9回実施、事業承継計画に必要な自社の情報を整理した。

この一連の作業の中で、自社の強みや課題を洗い出し、自社の現状を客観的に評価、分析できたことも収穫であった。

同年9月、5年間で事業承継を完了するための計画書をまとめ、10月に取引先へ提出。事業承継問題を指摘された取引先からは「完成度の高い事業承継計画書」と評価を受け、「これからも頑張ってもらいたい」と激励された。



## 事業承継後、経営革新等に取り組み増収へ

同年12月、前社長が命に関わる重篤な病気にかかり、専務と直孝氏は動揺したが、計画書に従って事業承継の準備を粛々と進めていくことができた。

そして翌年の2019年6月には、直孝氏が社長に就任し、事業承継を果たすことができた。

承継後、直孝氏は小規模事業者持続化補助金を活用した販路拡大や新しい製造工程の開発に基づき経営革新計画の承認を得るなど、次々と新しい取り組みに挑戦した。

その結果、2020年3月期決算では売上高が大幅に増加。その後、新型コロナウイルス感染症の影響で一時的業績が落ち込んだが、事業承継を機に金融機関や公的支援機関との情報交換を密に行う関係も構築されていたことで、早期に新型コロナウイルス感染症対策の融資を受けることができた。

また、2022年には事業再構築補助金に採択され、新分野への製品を受注する事が出来た。2024年3月、経営力向上計画を策定し、近畿経済産業局に申請中である。

「当社の事業は金型を何十年単位で保有し、取引先と長くお付き合いしていく仕事なので、長期的視点で安定経営を目指す必要がある。今後は取引先に安心して満足してもらえる対応力を持った企業へと成長させていきたい。」と山尾直孝社長は語る。

## 事業承継のプロセス

2008	主要取引先事業者から事業承継の見通しについての質問を受ける。
2018.6	主要取引先事業者から事業承継の計画書の作成要請を受ける。
2018.7	商工会の「事業承継セミナー」に参加。専門家派遣制度を利用し、自社の情報を整理する。
2018.9	事業承継の5か年計画書を作成・取引先へ提出。
2019.6	事業承継を果たす。

取材先  
概要

事業所名 株式会社山尾工作所  
代表者 山尾 直孝  
住 所 加古郡稲美町六分一1294-1

TEL 079-495-0140

URL <http://yamaokousaku.moon.bindcloud.jp/>

## 商工会の紹介ページ

## 稲美町商工会

## 商工会概況



会長 大西 和樹  
キング醸造株式会社  
相談役

稲美町商工会では、本年度「入って良かった商工会」をスローガンとして巡回時に、「傾聴と対話」を通じた信頼の醸成から会員事業所のニーズを汲み取り、経営力再構築伴走支援事業及び経営改善普及事業並びに地域振興事業に取り組んでいます。

経営発達支援事業では、稲美町の地域資源である豊かな農産物を維持・発展させるため、アフターコロナを機に「地域活力増進事業」や「伴走型小規模事業者支援推進事業」において販路開拓、拡大に繋がる展示会出展支援

を行います。

人口30,565人の小さな町で、国道、鉄道ありませんが、東は神戸市、南は明石市、西は加古川市、北は三木市に隣接し、山陽自動車道、第二神明道路のICも近く、住みやすく便利な町です。

会員数は通増傾向に有り612会員、青年部は令和4年、5年と2年連続「青年部員増強運動」において、増強率兵庫県No1をいただくほど、積極的に様々な活動をおこなっています。

## 地域情報

稲美町は、自然豊かな地域の財産を活かし「地域経済再生支援事業」、「冬のふれあいまつり事業」及び「伴走型小規模事業者支援推進事業」を行っています。

## 「稲美町カタログギフト事業」

会員事業所の商品やサービスの情報を掲載した「カタログギフト」を作成し、町内全戸配布することで、会員企業の情報発信及び消費者に対する購入媒体ツールとして地域経済の早期再起の促進に繋がっています。

## 「いなみ野ため池カレープロジェクト事業」

稲美町の地域資源である「ため池」をモチーフにした、稲美町産の農産品を使用した「ため池カレー」を町内飲食店で販売する事業「INAMIため池88カレーフェア」を開催。プレスリリースも行き、神戸新聞・NHK神戸等のマスメディアで紹介され地域経済の早期再起の促進に繋がっています。

## 「いなみ冬景色事業」

青年部が中心となり、「稲美町の子供たちに町民としての、夢・希望・誇り・創造を与える」ことを目的として実施。事業を通して稲美町の活性化や、会員事業所・青年部員の事業所PR並びに地域の価値観の向上に努めています。今年は11月30日(土)から点灯します。幻想的な光のイルミネーション体験に稲美町へお越しください。



左上から、福嶋副会長、大西会長、山谷副会長  
左下から松田事務局次長、小西主任、上田主事、俊成係長、安福事務局長

## 稲美町商工会

〒675-1115 加古郡稲美町岡岡 1-1  
TEL: 079-492-0200  
FAX: 079-492-0557



## 県青連

## 第57回 通常総会・第1回 幹部講習会を開催

4月30日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて第57回通常総会を開催。齋藤知事をはじめ県関係者・ひょうご共済理事長・全国連顧問・全青連会長など、多数の来賓を迎え、県下107名の部員が出席した。

議事に先立ち行った部員増強優良表彰では、新規加入者数1位の芦屋市商工会青年部、南あわじ市商工会青年部、部員増加率1位の稲美町商工会青年部を表彰した。

通常総会では、提出された議案は原案どおり承認された。第5号議案の役員の補充選任では、11名の役員が補充選任された。

幹部講習会では、右記5名によるパネルディスカッションを開催した。「やるしかない～伝える言葉 繋ぐ心～ やるし



へ 挨拶をする藤原会長

かない～2024 ここからがスタート!～」をテーマにディスカッションが行われた。ディスカッションでは、事前質問を含む多くの参加部員からの質問にお答えいただき、有意義な研修となった。



へ 幹部講習会のパネルディスカッションの様子パネリスト(左から)

- ・川西市商工会 東 大悟 氏
- ・全青連会長 夏堀将太郎 氏
- ・全国連顧問 越智 俊之 氏
- ・芦屋市商工会 小泉 星児 氏
- ・稲美町商工会 英 直彦 氏

## 県女性連

## 第57回 通常総会開催・第1回 幹部講習会を開催

## 主張発表大会は川本氏(宍粟市)が最優秀賞に輝く

4月25日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて第57回通常総会・第1回幹部講習会を開催した。齋藤知事をはじめ県関係者や、ひょうご共済理事長など多数のご来賓をお迎えし、県下133名の部員が出席した。

幹部講習会の主張発表大会では、県内7ブロックの代表者が女性部活動や地域振興をテーマに事例発表を行い、審査の結果、最優秀賞を川本こず江氏(宍粟市)、優秀賞を福岡明日香氏(南あわじ市)が受賞した。最優秀賞の川本氏は9月に和歌山県で開催される近畿大会に兵庫県代表として出場予定である。

講演会では、防災家・危機管理アドバイザーの野村功次郎氏が「大災害に対して商工会女性部が



へ 挨拶をする生田会長

できること」をテーマに、自身で災害復旧現場で命を守る手法や体験、被災した地域や事業所を早急に復興させるにはどうすべきか等を講演いただき、女性部員は興味深く聞き入っていた。

通常総会では第1号議案から第7号議案まで原案通り承認された。第7号議案では、役員の補充選任があり、2名の役員が選任された。



へ 主張発表大会で最優秀賞を受賞した川本氏(宍粟市)



へ 講演会の講師を務めた野村功次郎氏

## 壮青年部

## 第5回 通常総会・令和6年度第1回 研修会を開催

5月13日、神戸市・湊川神社 楠公会館において令和6年度兵庫県商工会壮青年部 通常総会・第1回研修会を開催。県関係者等を来賓に迎え、42名の部員が出席した。

通常総会においては、第1号議案から第2号議案まで全て原案通り承認された。

研修会では、豊岡市で事業を営まれている株式会社Mother Earth 取締役 宮崎裕紀氏を講師に迎え、『大好きな故郷で私ができること～事業承継からのさらなる展望～』をテーマに自身の出身地や事業所のPR、自身の事業がどう地域社会に貢献できるかなどを講演いただいた。

令和元年度に同友会から名称変更し、昨年度に100名を

超える部員数となった壮青年部。今年度は105名でのスタートとなり、引き続き部員増強、ならびに部員同士による資質向上を図っていく予定である。



へ 挨拶をする山内部長



へ 研修会で講師を務めた宮崎裕紀氏



## 支援ツールを活かした経営支援

小規模事業者への経営支援を行う中で、私が普段よく使っているツールをご紹介します。

まず、資金繰りや融資の相談があった時には、相談事業者とともに資金繰り表の作成を行っています。その際に気を付けているのは、ベースとなる金額は決算書などを基にこちらで予め入力するにしても、全て作成して結果をお伝えするのではなく、計画の数字は事業者との対話を通じて、モニターに映した同じ画面を見ていただきながら一緒に完成させていくようにしています。資金繰り表の作成を通じて、借入を行った場合の返済負担や資金を回すために毎月いくらの収入が必要か、抑えられる支払いはないかなど事業者と支援者双方で確認することができます。また、経営改善への対策を考えるきっかけづくりにも繋がります。資金繰り表は、日本政策金融公庫の様式を活用しています。ホームページから自由にダウンロードできるようになっていて、記入例もあるので、使いやすくお勧めです。

コロナ禍以降、消費者ニーズや経営環境の変化が加速したことで、新事業への参入を検討する事業者からの相談も増えました。自身が支援経験のない業種への参入に

関する相談の際には、中小機構が運営するJ-Net21の業種別開業ガイドを参考にしています。基本的には、開業向けの引き手ではありますが、新事業を始めるにあたり、参入を目指す市場の動向や特徴、開始するために必要な許可の申請や手順などがわかりやすく記載されているため、新事業参入を検討している事業者への支援にも活用できます。当会では、業種別審査事典のクラウドアプリ版も導入しているため、そちらも参考にしたりしています。これら資料をひとつの参考材料として、面談の際にお渡しして、新事業参入に向けた可能性を検討していきます。

支援ツールは、ゴール(目標)と手段を検討・設定するために有効ですし、本質的な目的を事業者と支援者が共有するためのコミュニケーションツールとしても役立ちます。

経営力再構築伴走支援ガイドラインに経営者の「腹落ち(納得)」の重要性が記載されていますが、支援者側も同様に支援内容に「腹落ち(納得)」していなければ、適切な支援が行えません。傾聴、巡回による現場確認、財務諸表の把握は基本ですが、その過程において、適切な支援ツールを活用することで、事業者と支援者が同じ方向を向くためのきっかけになり、効率的かつ効果的な伴走支援に繋がっていきます。

## 個人住民税の納税について

個人住民税は、県民税と市町民税をあわせて市町が課税し、徴収する税です。給与所得者と65歳以上の年金受給者は、給与や年金から特別徴収され、それ以外の方は、市町から送付される納税通知書により、原則として年4回に分けて納めていただきます。

給与所得者等以外の方の第1期分の納期限は**7月1日(月)**(市町により納期限が異なる場合があります。)ですので、最寄りの銀行などの金融機関でお納めください。

※お問い合わせはお住まいの市(区)役所、町役場まで

令和6年度から森林環境税(国税)が課税されます(住民税均等割と併せて一人年額1,000円)。

兵庫県・市町

健康保険証は2024年12月2日に廃止

医療機関の受診は  
マイナ保険証で

※マイナ保険証…マイナンバーカードに保険証利用の登録をしたもの

マイナ保険証 始まっています!

全国健康保険協会  
協会けんぽ

### 7月のこよみ

- 4日(木) 商工会管理者研修会
- 17日(水) 県青連幹部講習会
- 19日(金) CA連絡会
- 22日(月) 総務委員会 ★
- 24日(水) 県女性連幹部講習会



### 8月のこよみ

- 1日(木) 正副会長会
- 8日(木) 人事管理委員会
- 21日(木) 理事会  
表彰審査委員会



中小企業の皆様を  
バックアップ!

兵庫県神戸市中央区花隈町6番19号  
兵庫県商工連協同組合

商工会発行研修用冊子

## 「必要とされ続ける企業になるために」より

## 中小企業の為のSDGsの使い方

## 2. 社会にはどんな課題がある？

あなたに関わる地域を思い浮かべてみましょう。地域の中で気になっていることはありますか？ 空き家が増えている、地域交流が減っている等、思い浮かべるだけで数多くあると思います。

社会課題とは、世の中にある様々な困りごとや、解決しないと将来にマイナスの影響を与える問題のことです。社会の動きは社会課題から知ることができます。

最近、顧客の価値観の変化を感じたことはありませんか。顧客も社会の一員であり、社会の変化が顧客に表れていることがあります。

地域が抱える課題は、見方を変えれば「地域のニーズ」であり、新しいビジネスの可能性を秘めています。

「社会課題」の解決は、販路開拓、新規顧客獲得、リピーターを増やすための新しい切り口にもなります。地域で必要とされ続ける事業を創るヒントを、社会課題の中から見つけてみませんか。

## 中小企業がSDGsに取り組むメリット

- ① ビジネスチャンスや経営リスクに気づく
- ② 社員の士気向上につながる。
- ③ 企業価値が高まる

次回、3章身近な話題とSDGsを近づけてみように続く

令和6年度

## 兵庫県BCP/BCM支援プログラム

(後援:兵庫県商工会連合会、兵庫県商工会議所連合会)

災害などから、従業員を守り、製品やサービスの取引先・利用者等を守り、企業が存続できるよう、“備える”が必要です。そのためにBCP(事業継続計画)策定・実践を兵庫県がお手伝いします。

参加費  
無料

## ■通常型コース(①～③を別日で開催)

①支援セミナー、②策定講座、③実践講座を県内各地・オンラインで開催

## ■土日宿泊型コース(通常型コース①～③を1泊2日で実施)

兵庫県広域防災センターで実施(宿泊費要)

## ■半日型コース(ダイジェスト版BCPを半日で策定)

従業員数が少数・単一拠点の方も参加しやすいコース

## ■【NEW!】万博特化型コース(大阪・関西万博に集中対策)

★詳細、お申し込み等はWebサイトからご確認ください

兵庫県 BCP

検索



## 新規採用職員紹介

丹波市 阿倉 寛士



6月より丹波市商工会に配属となりました阿倉寛士と申します。若輩者ではございますが、地域の皆様と共に、地域振興や発展に尽力し、地域の魅力をさらに引き出せるよう努めてまいります。皆様のお役に立てるよう精一杯努力いたしますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

New staff



信用保証で、このまちの  
中小企業・小規模事業者を応援します

兵庫県信用保証協会  
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF HYOGO-KEN  
〒651-0195 兵庫県神戸市中央区波島町62-1  
TEL: 078-393-3900  
//www.hosyokyakai-hyogo.or.jp/

事業所の地震・津波リスクに備える  
**火災共済**

ひょうご共済 地震特約 検索

—ひょうごの中小企業を補償でサポート!—

ひょうご共済  
兵庫県共済協同組合